

2017.4 — 2018.3
ARCHIVE of hacchi



hacchi

2017.4 — 2018.3
八戸ポータルミュージアム はっちの歩み

目次

【中心市街地賑わい創出事業】

イベント連携事業.....	2
ライブラリ事業.....	3
はっちのゴールデンウィーク	4
はっちのたなばた.....	5
はっちのクリスマス2017.....	6
はっちのお正月	8
まちぐみ事業.....	10

【文化芸術活動支援事業】

はっちプロジェクトDASHIJIN.....	11
和日カフェ〜日本文化に親しむ日〜	12
酔っ払いに愛を2017〜横丁オンリーユーシアター〜	14

【市民活動支援事業】

第六回はちのへ演劇祭.....	15
ストリート投げ銭ライブ in はっち.....	16
はっちがずっぱど南部弁.....	17
ロボフェスタはちのへ	18

【ものづくり支援事業】

はっち市2017〜はっちがちっちゃな街になる〜	19
-------------------------------	----

【観光振興・FMアクセス事業】

お祭りin はっち2017(八戸三社大祭関連事業).....	21
えんぶりin はっち	22
八戸市市制施行88周年記念「88(やや)異国プロジェクト」.....	23
市民学芸員・はっちサポーター	24
ボランティアガイド	24

【情報発信事業】.....

はっちリレーショナル・プレス はちみつ	
放送スタジオ「びびすた ♪」	

【貸館事業】.....

市民のみなさんの活動・交流の場	
○2017年度 はっちの自主事業一覧.....	28
○はっちの年表	29



中心市街地
賑わい創出
事業

イベント連携事業

はっちのお店は、まちなかイベント
とともに中心街を盛り上げます！

「はちのへホコテン」や「八戸七夕まつり」、「八戸三社大祭」など中心市街地の歩行者天国に合わせ、食のもののづくりスタジオを中心に館外に出店。各店舗でイベント限定の商品を用意して、まちなかイベントとともに中心街を盛り上げた。

○実施日

- ・はちのへホコテン：5月～10月(7月を除く)最終日曜日
2017年5月28日、6月25日、8月27日、9月24日、10月29日
- ・八戸七夕まつり：2017年7月14日(金)～17日(月・祝)
- ・八戸三社大祭：2017年7月31日(月)～8月4日(金)
- ・八戸三社大祭ユネスコ無形文化遺産登録記念祭：2017年8月5日(土)

○協力：八戸中心商店街連絡協議会 はちのへホコテン実行委員会



この日だけの特別メニューや限定商品でまちなかイベントを盛り上げる



ライブラリ事業

本を楽しむ・本に親しみ・
本が好きになる
はっちのライブラリ

はっちの2～4階に設置されているライブラリ。4階ライブラリでは、月毎にテーマを決めてセレクトした「月例特集」を実施。第4回「はっちの一箱古本市」では、古本市のほか、八戸ブックセンターなどと連携し、林明子原画展、絵本作家のワークショップなどを実施した。

■はっちの一箱古本市

- ・実施日：2017年9月24日（日）
- ・出店者：18組 入場者：約500名
- ・内容：出店者が個性的なラインナップの書籍を一箱分持ち寄って販売。日本の伝統製本技術「和とじ」によるメモ帳作り体験のほか、八戸ブックセンター、子育て支援課と連携し、林明子原画展、絵本作家の広瀬克也さんの読みきかせとワークショップなどを実施。ものづくりスタジオでは絵本に出てくる食べ物を再現した特別メニューを販売した。

■各フロアのライブラリテーマ（通年）

- 2階：「八戸を知る・日本を知る」
- 3階：「地元の文学者を知る・深める」
- 4階：「アートやデザイン、食やものづくり、画集、雑誌」

■4階ライブラリの月例特集テーマ

- 4月 出会いの春
- 5月 おこもり
- 6月 写真と音楽
- 7月 海
- 8月 祭り
- 9月 本にまつわるテーマ
- 10月 お酒
- 11月 お買い物
- 12月 書く
- 1月 食と健康
- 2月 装い
- 3月 まち



大人気！和とじ製本ワークショップ



林明子さんのかわいらしいイラストを展示



ものづくりスタジオ特製の絵本に出てくる食べ物セット

はっちのゴールデンウィーク

親子で楽しめるイベントが盛りだくさんの
黄金週間



大賑わいの親子うんどうかい

デジタルアートの世界に親しむワークショップ、こどもの日バージョンで送るスペシャル投げ銭ライブなど、バラエティ豊かなイベントとなった。

- 【美術館まつり連携】「森の映写会☆噂のVR体験もできちゃう!？」デジタルの世界プレイベント
八戸市美術館開催イベントで投影されるプロジェクションマッピングの映像作品の素材作成コーナーやみろく横丁が360°楽しめるVR体験コーナーを設置。
・実施日:2017年5月3日(水・祝)
・入場者:約250名
・実施:八戸市美術館、LIGHT MAGIC

- 【美術館まつり連携】「森の映写会☆噂のVR体験もできちゃう!？」デジタルの世界アーカイブ展
前日開催したプレイベントの実施風景の短編映像上映。過去に制作したプロジェクションマッピング作品を、1/100 サイズのはっちの模型に投影するコーナーを設置。
・実施日:2017年5月4日(木・祝)
・入場者:約100名
・実施:八戸市美術館、LIGHT MAGIC

- 帰ってきたシンガーソングライター大木ハルミ sakura キャッチキャッチライブ!
昨年のゴールデンウィークにライブを行った、シンガーソングライター大木ハルミさんがパワーアップして凱旋ライブを開催。
・実施日:2017年5月3日(水・祝)、4日(木・祝)
・入場者:2日間計約120名
・実施:大木ハルミ

- ゴールデンウィークに親子でオリジナルパフェをつくろう!
アイス・フルーツ・クリーム・クッキーなどを自由に盛り付ける親子オリジナルパフェ作りを実施。
・実施日:2017年5月3日(水・祝)~5日(金・祝)
・実施:very berry +
・料金:1組 1,000 円
・参加者:28組

- GWスペシャル投げ銭ライブ
毎月隔週水曜日夜に開催の投げ銭ライブをこどもの日特別バージョンで開催。ものづくりスタジオ各店舗が特別出店し、食事をしながらライブを楽しんだ。
・実施日:2017年5月5日(金・祝)
・出演:矢沢A喜一、フラスタジオブメハナ、ケヴィン・メッツ、コスプレイヤーズレビュー
・入場者:約200名

- 親子うんどうかい
赤ちゃんによるハイハイレースやパン食い競争など親子で参加できる運動会を開催。
・実施日:2017年5月7日(日)
・入場者:約150名
・実施:はちのへ未来ネット(こどもはっち)



美術館まつり連携プレイベントで、解体される美術館へ贈られたメッセージたち



シンガーソングライター大木ハルミさんの sakura キャッチキャッチライブ!



親子で協力して生クリームをカップに盛り付け、オリジナルパフェを作った

はっちのたなばた

八戸の短い夏を飾る
はっちのたなばた



中心街の七夕まつりに合わせた、はっちの七夕イベントを開催。八戸産の魚介類を使った夏限定ブイヤベースは、数種類の味を食べ比べできるスタイルに一新！「市民たんざくコーナー」では、多くの市民の願いが込められた短冊が飾られた。

■はっちの七夕飾り 市民たんざくコーナー

来館者の願いを込めた短冊を笹に結んで飾るコーナーを設置。

- ・実施日：2017年7月1日(土)～17日(月・祝)
- ・入場者：約1,800名

■七夕にブイヤベース！in はっち 2017

はっちでブイヤベース博覧会！？市内のシェフたちが各店こだわりの夏限定ブイヤベースを販売。

- ・実施日：2017年7月15日(土)、16日(日)
- ・共催：八戸ハマリレーションプロジェクト
- ・参加者：約1,100名
- ・料金：ブイヤベース1人前800円ほか

■たなばた茶会

お茶菓子と抹茶を楽しめる夕涼みのお茶会を開催。

- ・実施日：2017年7月15日(土)
- ・共催：茶道裏千家淡交会 青森青年部
- ・参加者：約300名
- ・料金：300円

■こどもはっち夏まつり

年に一度はっち全館がまるごと「こどもはっち」になる日。親子で楽しめるイベントを多数開催。

- ・実施日：2017年7月17日(月・祝)
- ・共催：NPO法人はちのへ未来ネット(こどもはっち)
- ・入場者：約6,500名

■八戸七夕まつり飾りつけコンクール表彰式

市内保育園などが制作した七夕飾りの表彰式を実施。

- ・実施日：2017年7月15日(土)
- ・共催：八戸七夕まつり実行委員会(八戸商店街連盟)
- ・入場者：約100名



ゆったりとした時間を過ごせる「たなばた茶会」



親子の繋がり、子どもたちの繋がりを深めた「こどもはっち夏まつり」！



はっちの吹流しでは市制施行88周年をお祝い！



中心市街地
賑わい創出
事業

はっちのクリスマス2017

見て、遊んで、食べて！
盛りだくさんのはっちのクリスマス

「八戸いちごマルシェ&菓子まつり」を皮切りに、約1か月にわたりイベントを開催。外壁イルミネーションのデザインには八戸市市制施行88周年を記念した「88」を取り入れ、子どもたちと市長がツリー点灯の瞬間に立ち会った。

■八戸いちごマルシェ&菓子まつり&Buyはちのへ標語コンクール表彰

八戸いちごを使った新作スイーツ発表会や、市民参加のクリスマスケーキづくり、八戸いちごの販売やドーナツの実演販売を実施。

- ・実施日：2017年11月25日(土)、26日(日)
- ・主催：青森県菓子商工業組合、八戸商工会議所、八戸市農業経営振興センター
- ・入場者：約7,700名(2日間合計)

■クリスマスイルミネーション&クリスマスツリー展示

毎年恒例となったクリスマスツリーと、市制施行88周年をモチーフとした外壁イルミネーションを実施。

- ・実施日：2017年11月25日(土)～12月25日(月)

■ドット・ストライプ彩りフェルト展

手すきフェルトの生活雑貨やクリスマスオーナメント、絵本を展示。12月3日は手すきフェルトシートを使ったクリスマスオーナメント制作ワークショップを開催。

- ・実施日：2017年11月28日(火)～12月3日(日)
- ・実施：DIY団体まちなかファクトリー
- ・料金：500円～

■CHEESE DAY コラボレーション企画

「クリスマスにチーズでホームパーティーおもてなし講座」チーズを使った料理講座やクリスマスブレンドティーづくり、ドリンクのパーティアレレンジなど、クリスマスのホームパーティーをワンランクアップさせる極意を学んだ。

- ・実施日：2017年12月19日(火)、23日(土・祝)、24日(日)
- ・講師：須田忠幸(八戸プラザホテル西洋料理長)
山内瞳(ていーらんぷ)
金子慎也(八戸プラザホテルマネージャー)
- ・参加者：31名(3日間合計)
- ・料金：1,500円(お土産付き)

■Hachinohe Portal Music!! X'mas&Winter ver.

Presented by 出前音楽 PORT A' ROCK
お気に入りのレコードを探し、実際にレコードに針を落として聞いてみるレコ屋体験やDJ実演タイムを開催。

- ・実施日：2017年12月3日(日)
- ・実施：PORT A'ROCK



市内のケーキ職人を講師に、親子で学ぶクリスマスケーキ作り



ちょっとしたコツでホームパーティーをワンランクアップ♪



DJ実演タイムには会場をアゲアゲで盛り上げる

■ごろ寝アート撮影会 クリスマス ver.

赤ちゃんにクリスマス仕様のかわいい衣装を着せる、記念撮影会を開催。

- ・実施日：2017年12月5日(火)
- ・実施：一般財団法人ディーコネクション
- ・料金：1,000円

■色と香りの彩時記展

一年を表現したツリーと、春夏秋冬の4エリアを色と香りで彩った展示を開催。12月17日には、1年間をイメージした色を選び、パステルでマンダラを描くワークショップを実施。

- ・実施日：2017年12月14日(木)～18日(月)
- ・実施：feel&かわいいアロマひつじや
- ・料金：500円～

■ペットボトルツリーで街を彩る

市民の皆さんがペイントしたペットボトルツリーを展示。展示に先立ち12月15日に、ペットボトルツリー制作ワークショップを開催。

- ・実施日：2017年12月19日(火)～25日(月)
- ・実施：八戸学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

■「からくりゲームのあそび 2017」からくり×最新テクノロジー アクションボードゲームを体感せよ

からくりゲームと木工からくり作品を展示。

- ・実施日：2017年12月20日(水)～24日(日)
- ・実施：からくり工房

■うたごえ喫茶～クリスマスソングと冬の歌～

アコーディオンとギターの伴奏で、参加者全員がクリスマスソングや冬の歌を歌う喫茶店を開催。

- ・実施日：2017年12月24日(日)
- ・主催：うたごえ喫茶八戸実行委員会
- ・料金：500円

■エレクトーンコンサート

2台のエレクトーンで奏でる、なじみのある曲で、小さな子どもから大人まで楽しめるクリスマスコンサートを開催。

- ・実施日：2017年12月25日(月)
- ・実施：及川英理子、大清水美紀子



かわいい背景をバックにハイポーズ



真剣な表情でパステルマンダラに挑戦



市民が塗ったカラフルなペットボトルを積み上げ、クリスマスツリーを制作・展示



からくり木工作家の高橋みのるさんが制作したプロジェクションマッピング技術を利用したボードゲームなどを展示



クリスマスツリーの下で開催されたエレクトーンコンサート

中心市街地
賑わい創出
事業

はっちのお正月

初の2日間開催で
賑やかに新年の幕開け！



初の2日間開催となったのはっちのお正月。書道パフォーマンス、箏曲、民謡・手踊りや合唱、八戸・地域スポーツチームイベントなどを実施。無病息災の願いを込めた法霊神楽一斉歯打ちには、多くの来館者が詰めかけ、賑やかな一年の始まりとなった。

■八戸東高校書道部・新春書道ガールズパフォーマンス

曲に合わせてダンスパフォーマンスを行いながら、大きな半紙に新年のメッセージを2種制作。

- ・実施日：2018年1月2日（火）
- ・出演：青森県立八戸東高等学校 書道部
- ・入場者：約200名

■箏曲～新春を奏でる～

昨年50周年を迎えた、宮城社八戸の内田陽子社中が、新春らしい箏曲5曲を演奏した。

- ・実施日：2018年1月2日（火）
- ・出演：宮城社八戸 内田陽子社中
- ・入場者：約150名



箏8面、17絃1面の計9面で新年らしい箏曲を披露した宮城社八戸の内田陽子社中

■おがみ神社法霊神楽保存会・一斉歯打ち

無病息災の願いを込め、おがみ神社法霊神楽一斉歯打ちを行った。はっちを起点に中心街を1周し、終了時にも締めの一斉歯打ちを実施。

- ・実施日：2018年1月2日（火）
- ・協力：おがみ神社法霊神楽保存会
- ・入場者：約400名

■アコースティック・ラブソングライブ

階上町出身のシンガーソングライター・古屋敷裕大さんによるアコースティックライブを行った。

- ・実施日：2018年1月2日（火）
- ・出演：古屋敷裕大
- ・入場者：約100名



無病息災の願いを込め、新春に威勢良く打つ、おがみ神社法霊神楽一斉歯打ち

■プリマヴェーラ新春コンサート

結成25年を迎えた八戸市の合唱サークル「女声コーラス・プリマヴェーラ」の22名が、新春にふさわしい12曲を披露した。

- ・実施日：2018年1月3日(水)
- ・出演：女声コーラス・プリマヴェーラ
- ・入場者：約120名



結成25年を迎えた、八戸市の合唱サークル「女声コーラス・プリマヴェーラ」

■八戸・地域スポーツチーム新春フェス

地元スポーツチームの対抗ゲーム大会を開催。ゲーム後には、サイン会でファンと交流した。

- ・実施日：2018年1月3日(水)
- ・共催：八戸スポーツ振興協議会
- ・出演：東北フリーブレイズ、ヴァンラーレ八戸、青森ワッツ、イタチカ八戸
- ・入場者：約250名



出されたお題の絵の上手さを競う、スポーツチームの選手たち

■つり雛飾り～松坂つやとゆかいな仲間たち～

干支の犬を中心としたつり雛飾りの展示と、かわいいフルーツの飾り物づくりワークショップを行った。

- ・実施日：2018年1月2日(火)～14日(日)
- ・実施：松坂つや

【ワークショップ】

- ・期間：2018年1月13日(土)、14日(日)
- ・参加者：35名
- ・料金：500円



かわいいフルーツの飾り物の制作ワークショップ

■中心商店街初売り共同イベント「もちつきお振る舞い」

はっち前と十三日町(スクールSHOPハシブン前)にて先着150名にお餅を振る舞った。

- ・実施日：2018年1月2日(火)
- ・主催：八戸中心商店街連絡協議会



はっち前で行列したお餅のお振る舞い



中心市街地
賑わい創出
事業

まちぐみ事業

市民の「やってみたい！」をサポートし、
中心商店街にワクワク感とまち歩きが楽しくなる
仕掛けを目に見える形で作る「まちぐみ」

アーティストの山本耕一郎組長がプロデュースし、八戸で暮らす人々の「やってみたい！」をサポートしてカタチにする市民集団「まちぐみ」。「はっちの椅子に南部菱刺し体験」や「高校生とつくる南部せんべいカフェ」など、思いがけないアイデアで八戸のまちをちょっとずつ楽しくするプロジェクトを実施。

■まちぐみへの加入

2017年度は、「まちを元気にしたい！まちで楽しいことがしたい！」という方々が、まちぐみ組員として36名が新たに加入。ニックネームとまちぐみで活かしたい得意技等の登録で誰でも加入可能。(1,000円でTシャツ購入、顔写真撮影あり)

■中心街店舗リノベーション

山本組長とまちぐみ組員が、中心商店街の2店舗で屋根や看板の設置、店舗外観の装飾などを手掛けた。また、本八戸駅通りに新たに設置した「まちぐみラボ(拠点)」内のリフォームやリノベーションを実施し、2017年12月にオープンした。

・実施店舗:café Domain、very berry+

■まちぐみ presents はっち×南部菱刺し

はっちの椅子に南部菱刺しを施す市民参加型イベントを実施。八戸市民や観光客が、南部地方の伝統工芸「南部菱刺し」を体験した。

・実施日:2017年6月18日(日)、8月11日(金・祝)、20日(日)、9月17日(日)、11月19日(日)、12月17日(日)、2018年1月21日(日)、2月18日(日)

※8月11日は「全国スポーツ流鏝馬第2回八戸大会」にて出展

・監修:南部菱刺し研究会 つづれや 代表・山田友子

■はちのへホコテン出店

中心商店街のメインストリートが歩行者天国となるイベント「はちのへホコテン」で、「まちぐみ」のPRとともに南部菱刺し体験を実施。

・実施日:2017年6月25日(日)、9月24日(日)、10月29日(日)

■まちぐみアーカイブ展3

2017年度のまちぐみの活動内容を分かりやすく展示。南部

菱刺しを施したはっちの椅子等の展示や、期間中の土日には「高校生とつくる南部せんべいカフェ」を実施。

・実施日:2018年3月3日(土)~18日(日)

■八戸市市制施行88周年記念市民提案協働事業

「高校生とつくる南部せんべいカフェ」

参加する高校生のアイデアを活かした、南部せんべいを使用したメニュー開発やワークショップなどの実施と、高校生が中心となり運営するカフェをオープン。

・実施日:2018年3月4日(日)、10日(土)、11日(日)、17日(土)、18日(日)

■組員自主企画

まちぐみラボ(拠点)開設2周年の記念と、移転するラボへの感謝を込め下記の2企画を実施。

・まちぐみ演劇部企画 まちぐみラボ2周年記念

「TA・DA・I・MA」(2017年7月17日(月・祝))

・ラクガキカーニバル(2017年8月11日(金・祝)~31日(木))

■本八戸駅通り振興会との連携企画

まちぐみラボが立地する本八戸駅通りで、本八戸駅通り振興会とまちぐみが連携した企画を開催。

・本八戸駅通り「暮れのタぐれ市」(2017年12月26日(火))

・本八戸駅通りオープン the シャッタープロジェクト「内丸喫茶酒場」(2018年2月17日(土)~20日(火))

・第1回本八戸駅通り地区トレジャーハンティング「消えた山車組の秘剣アメノムラクモを探せ！」(2018年3月21日(水・祝))



文化芸術
活動支援
事業

はっちプロジェクトDASHIJIN

八戸三社大祭の山車を
造形する市民力によって、
八戸固有の物語が浮かび上がる

八戸三社大祭をめぐる人と人とのつながりや、独自の造形美を見つめ直し、世界の宝「八戸三社大祭」を次世代へつなげるプロジェクト。2017年度は、市民記者が取材し編みあげた「八戸の88の物語」の作品お披露目展示や記念トークイベント、一般の方や大学生を対象とした山車小屋見学・制作ツアー、子どもたちが自ら山車組を取材・撮影・編集したオリジナル番組の制作などを行い、映像作品をインターネット等で広く発信した。

■八戸88ストーリーズ展示

2016年度に実施した、はちのヘスケーターズ(市民記者)が八戸に暮らす人々を取材し、88のストーリーを編み上げた作品を展示。

- ・実施日:[展示]2017年4月28日(金)～5月21日(日)
- [88(ばちばち)トーク]2017年4月30日(日)
- ・入場者:約27,000名

■山車づくり応援企画実験室

山車づくり現場の見学ツアーと山車造形物制作ツアーを実施。制作した造形物は、祭り本番の山車に使用された。

- ・実施日:2017年5月～8月(全25回)
- ・参加者:見学ツアー10名、制作ツアー83名
- ・実施:住中浩史(美術家)

■8.3チャンネル

子どもたちが、みんなに紹介したい山車の現場を取材し、オリジナル番組を制作。

- ・実施:小岩秀太郎(縦系横系合同会社 代表)
- 山田雅也(縦系横系合同会社)
- 三塚比呂(カメラマン)

〈みんなカメラマン〉

八戸市内の子どもたちが、山車制作現場へ潜入し、気になったところをカメラで撮影。最後はベストショットを1枚選び、発表会を実施。

- ・実施日:2017年6月18日(日)
- ・参加者:27名

〈マツリTV 番組をつくってみよう〉

子どもたちがお祭りのヒミツを紹介する番組を作成。山車組へ何度も訪問し、行くと変化する山車の様子を、カメラで撮影し、インタビューから編集まで全て子どもたちが行った。

- ・実施日:2017年7月～8月(全6回)
- ・参加者:18名

■DASHIJIN写真・映像展2017

2017年度に実施したDASHIJIN事業の活動アーカイブを展示。

- ・実施日:〈展示〉2017年9月15日(金)～10月1日(日)
- ・入場者:約1,000名

〈8.3チャンネル「マツリポーター」番組お披露目会〉

- ・実施日:2017年9月17日(日)
- ・入場者:約50名



88(ばちばち)トークでは取材裏話も!



制作ツアー。人形の手を制作中



子どもたちが撮影した写真を展示



2011年の開館当初から実施し、日本文化を気軽に親しめるように発表の場の創出などを目的とした「和日カフェ」。2017年度は8月から、和日カフェで企画を実施する個人・団体を募集し、新しいジャンルの企画や、より多くの世代が日本文化に触れるきっかけづくりとなった。

■2017年4月16日(日) 115名

○春うら茶会

春をテーマにしたお茶席を実施。

- ・参加者:100名
- ・料金:300円
- ・実施:遠州流茶道八戸支部

○いけばな体験～竹にいける～

日常生活の中に花を取り入れるための提案として、竹を器にして季節の花をいける体験を実施。

- ・参加者:15名
- ・料金:1,000円程度
- ・実施:一葉式いけばな青森県支部

■2017年6月18日(日) 60名

○日本の音を奏でてみよう・日本の音で踊ってみよう

「さくらさくら」を手本に、三味線、小鼓の演奏、日本舞踊(扇子の使い方)を体験できる講座を実施。

- ・入場者:10名
- ・実施:泉流 彩菜会

○八戸小唄 流し踊り講習会

八戸七夕まつりの「八戸小唄流し踊り」への参加や各地で行われる盆踊りに向け、八戸小唄の講習会を実施。

- ・入場者:50名
- ・実施:泉流 紫峰会

■2017年8月20日(日) 161名

○日本の伝統芸「和」を楽しむ

日本の伝統芸(かつぼれ、相撲甚句、日本舞踊)を観て体

験しながら健康になれる講座を実施。

- ・入場者:11名
- ・実施:櫻川流江戸芸かつぼれ 八戸道場、大久保達夫
(青森相撲甚句会 会長)、旭流 七幸会

○日本人の心の安らぎ～時代劇にふれてみませんか?～
時代劇講座

水戸黄門「青森編」の上映、時代劇をどのように作っているのかを学ぶことができる講演を実施。

- ・入場者:20名
- ・実施:苫米地祥宏(元「水戸黄門」監督)

○いけばな体験「いつも身近にお花を」

夏の花材を使いたいけばな体験を実施。

- ・参加者:21名
- ・料金:600円
- ・実施:一般財団法人 小原流八戸支部

○新聞を使って花器をつくろう

身近にある新聞を使った花器作り体験を実施。

- ・参加者:17名
- ・料金:600円
- ・実施:一般財団法人 小原流八戸支部

○投扇興を楽しむ

投扇興の練習や試合を体験できる講座を実施。

- ・参加者:23名
- ・料金:200円
- ・実施:投扇興を楽しむ会 はなみずき連

■2017年9月17日(日) 110名

○長月の書(平成29年度高文連県南地区高等学校書道展)

青森県高等学校文化連盟 書道部に加盟する、県南地区8校の高校生による約90点の書を展示。

・主催：青森県高等学校文化連盟 書道部

○書道パフォーマンス体験企画「きれいで書 ♪ステキで書 ♪」
模範演技を鑑賞し、練習後に大きな紙に好きな文字を清書した。書道に、より興味をもてるように象形文字当てクイズも合わせて実施。

・参加者：18名

・実施：青森県高等学校文化連盟 書道部

○爽秋茶席～さわやかな秋風のもとで、お茶会はいかがでしょうか？～

秋をテーマとしたお茶席を実施。

・参加者：92名

・料金：300円(2服分)

・実施：江戸千家岩手不白会 中丸社中

■2017年10月15日(日) 370名

○和日カフェ芸能花舞台～日本舞踊・邦楽・詩吟・手踊り～
日本舞踊・邦楽・詩吟・手踊り等を発表。

・入場者：200名

・実施：泉流彩菜会、泉流紫寿佳の会、泉流紫峰会、泉流珠峰の会、門口光子社中、直派分家若柳流 柳永会、直派若柳流富千穂会、正派若柳流薫邦会、正派若柳流千代邦会、日本舞踊と邦楽 藤清會、八戸小唄八幡馬のうた 雅会、みちのく吟詠会(12 団体)

○花展～花との出会いを楽しむ～

「秋の身近な草花」をテーマにした花展と、自宅再現できる身近なお花を使いたいけばな体験を実施。

・入場者：約170名(うち体験35名)

・料金：観覧無料、体験500円

・実施：MOA 美育ボランティアネット

■2017年12月17日(日) 148名

○悠久のデザイン文字～第11回岩手篆刻協会八戸展～
篆刻・書・刻字の作品約70点を展示したほか、グリーティングカードなどの活用方法を提案する小さな作品展を実施。自身の名前を1文字使って、約1センチ角の落款印づくり体験を実施。

・参加者：体験18名

・料金：300円

・実施：岩手篆刻協会八戸(泰雲堂)

○温故知新・つまみ細工のアクセサリーづくり

つまみ細工づくり、つまみ細工を用いたアクセサリーづくりを実施。

・参加者：32名

・料金：700円～1,000円

・実施：花鳥風月堂

○Ochanoyu お茶席 de メリークリスマス！

クリスマスの趣向を凝らしたお茶席を実施。

・参加者：98名

・料金：300円

・実施：表千家青森県青年部

■2018年1月21日(日) 123名

○つまみ細工のアクセサリーづくり～伝統工芸を身近に～

つまみ細工づくりと、作った作品を用いたアクセサリーづくりのほか、小さな作品展を実施。

・参加者：23名

・料金：700円～1,300円

・実施：花鳥風月堂

○親子いけ花教室発表会～新春を花で彩る～

文化庁補助事業「伝統文化親子教室」の1年間のお稽古の集大成として、作品展を実施。

・実施：八戸地域いけ花普及会

○新春お茶席～身近に楽しむお茶席体験～

初めての方でも、身近に親しめる立礼茶席(椅子席)のお茶会を実施。

・参加者：100名

・料金：300円

・実施：田面木公民館茶道クラブ・表千家

■2018年3月18日(日) 322名

○レプリカで楽しむ「国宝と重文」展覧会

国宝や重要文化財である美術品の精巧なレプリカを揃えた展示のほか、作品を間近で見ながら抹茶を楽しめるコーナーを設置。

・入場者：250名

・料金：観覧無料(抹茶コーナー300円)

・実施：MOA 美育ボランティアネット

○弥生の茶席

ひな祭りをテーマにしたお茶席と、お点前体験を実施。

・参加者：61名(うち体験6名)

・料金：300円

・実施：江戸千家不白会八戸支部

○カンタン！楽しい！おいしい！お抹茶サロン～ご自宅で手軽に抹茶を楽しみませんか？～

抹茶の泡の上に絵を描く「抹茶アート」体験のほか、気軽に自宅で抹茶を楽しむための講座を実施。

・参加者：11名

・料金：1,200円

・実施：高橋雅子(たかはし園日本茶インストラクター)



子どもたちによる、いけばな作品展



国宝や重要文化財の精巧なレプリカが揃った



抹茶に絵を描くことができるって知ってた？



文化芸術
活動支援
事業

酔っ払いに愛を2017 ～横丁オンリーユーシアター～

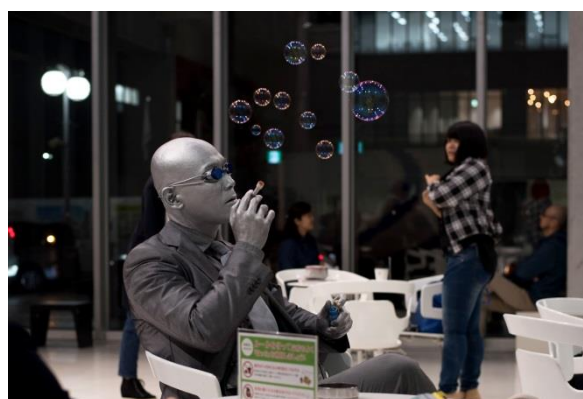
酔っ払いとアートが共演?!
八戸ならではのアートフェス

八戸名物「横丁」は、古くから残る路地と小さなお店が連なる全国的に珍しいエリア。そんな横丁を舞台に、手が届きそうな距離で思わず息を呑むパフォーマンスを繰り広げる「横丁オンリーユーシアター」。9回目となった2017年度は、アーティストを公募せず、全国から7組のアーティストを招聘した。例年より出演組数は減ったが各演目を丁寧に作りこみ披露したことで、パフォーマンス全体の質が向上し企業からの協賛金やドリンク交換の参加店舗が増加した。

- 実施日：2017年10月6日(金)～7日(土)
- 参加者：2日間合計867名
- 料金：1,000円(3公演鑑賞券+1ドリンク引換券)
当日1公演500円
- 主催：酔っ払いに愛を2017実行委員会
- アーティスト：赤丸急上昇、秋風リリー、un-pa、清水宏、DANCE WAG、チェ・ジェ Chol、十日市秀悦
- 協賛：南部電機(株)、ムーンブラザ、(同)PROA、PowerstationA7((有)大松)、オリエンタル酒販(株)、(株)ライケット、(株)なら弥、中居食品容器(株)、八戸タクシー(株)、いわとくパルコ、(株)ピーエフエム、クラブ シャングリラ、蜘蛛の糸、八戸液化ガス(株)、三八五交通(株)、三八五観光(株)、(株)類家大学堂薬局、キララ、メガネの玉屋
- 後援：NHK 青森放送局、青森放送(株)、青森朝日放送(株)、(株)青森テレビ、(株)八戸テレビ放送、(株)岩手めんこいテレビ、デーリー東北(株)、東奥日報社、(株)エフエム青森、(株)ピーエフエム、八戸中心商店街連絡協議会、八戸商工会議所、(株)まちづくり八戸、公益社団法人八戸観光コンベンション協会
- 協力：八戸横丁連合協議会、いわとくパルコ、金剛ビル、男山ビル、東北産業、ダンディ



アーティストが踊りだせば、いつもの路地もステージに早変わり



こっそり近づいてひっそりイタズラを仕掛ける



金粉を纏った妖艶な姿の舞に、観客の視線は釘づけ!

市民
活動支援
事業

**第六回
はちのへ演劇祭**
演劇傑作ポスターの下で
短編演劇を上演



「八戸を再び演劇のまちへ」という思いのもと始まり、6回目となった2017年度は、ジャパン・アヴァンギャルド・アングラ演劇傑作ポスター105枚の下で、6団体による短編6作品を上演した。関連企画のスタッフワーク講習会では高校生も参加し、八戸の演劇界の若い世代を育てる機会となった。

■第六回はちのへ演劇祭 スタッフワーク講習会

劇団、高校演劇部などのスタッフワークのスキルアップを目指し、舞台、音響、照明の3部門を基礎から学ぶ講習会を開催。

・実施日：2017年12月24日(日)～2018年2月25日(日)

・共催：はちのへ演劇祭実行委員会

・講師：アート&コミュニティー

〔舞台〕松浦雄一、〔音響〕久保有方

〔照明〕佐々木正人

・入場者：120名

■ジャパン・アヴァンギャルド・アングラ演劇傑作ポスター展

ポスターハリス・カンパニーが所有する演劇傑作ポスターを105枚展示。期間中に、ギャラリーツアーも開催。

・実施日：2018年3月2日(金)～18日(日)

〈ギャラリーツアー〉2018年3月3日(土)、18日(日)

・共催：はちのへ演劇祭実行委員会

・ポスター解説：笹目浩之(ポスターハリス・カンパニー代表取締役)

・入場者：1,648名、ギャラリーツアー95名

■第六回はちのへ演劇祭

ジャパン・アヴァンギャルド・アングラ演劇傑作ポスターを舞台装置とし、短編6作品を3つずつ組み合わせ、劇間劇2作品も加えて1公演とし、6公演を上演した。

・実施日：2018年3月16日(金)～18日(日)

・共催：はちのへ演劇祭実行委員会

・料金：前売 一般1,200円 大学生以下700円

当日 一般1,500円 大学生以下1,000円

・参加者：390名



スタッフワーク講習会舞台編



ポスター解説ギャラリーツアー



6劇団が参加



「ストリート投げ銭ライブ in はっち」も4年目を迎え、音楽ファンやパフォーマーたちの発表の場として、月2回程度（年間20回）水曜日の夜に開催。

来場者が館内販売の飲食を楽しみながら観賞し、自分の気持ちを「投げ銭」で表すスタイルは、出演者にダイレクトに観客の反応が伝わるステージとなっている。

・実施日：2017年4月～2018年3月（年間20回）

・会場：はっち1階 はっちひろば

・開場：18:30 開演：19:00 終演：20:00

・入場者：各回 約20名～60名

・出演者：4月26日 Sugar&Spice

5月17日 辻村誠彦

5月31日 剣崎望

6月14日 BAND～0～AGE

6月28日 Poisson du Beaujolais

7月19日 ハラウ ナ マモ オ トウリバ

7月26日 厨二病ナイト

8月30日 ゴスパーズ

9月13日 Memory's SP

9月27日 星川七恵

10月11日 及川明子

10月25日 鈴木操良慈

11月8日 Mojo 山内&小笠原リョウ

11月22日 Yukiko

12月27日 馬はなし亭呑助

1月10日 The Beat Wave

1月31日 Gonza 一座

2月7日 ニコ ニコ

2月21日 Trio Bearissimo

3月14日 MIKU & TAKE





市民活動
支援事業

はっちがずっぱど南部弁

方言(南部弁)の魅力を探り
後世まで伝える

2017年度の「はっちがずっぱど南部弁」は2部構成。

第1章は、柗谷伸夫さんプロデュースによる、毎年恒例の「南部弁サミット」。青森県南部弁・津軽弁・岩手県南部弁の語り部が一堂に会し、地域性の違いで言葉が変化する様子など方言の魅力を探った。今回は初のゲストとして、盛岡市のタレント(田中友善さん)によるギター弾き語りのオンステージで、盛岡弁と八戸弁の違いを聴き比べた。

第2章では十日市秀悦さんプロデュースによる「お待たせしました！年に一度の南部弁バラエティーシアター全員集合！」を開催。南部弁満載のトーク、コント、手踊り、体操、歌などを繰り広げ、会場全体を笑いの渦に巻き込んだ。

○第1章

「南部弁サミット」

- ・実施日:2017年12月2日(土)
- ・出演者:50名 入場者:250名
- ・企画・プロデュース:柗谷伸夫
- ・主催:南部弁の日実行委員会
- ・協力:岩手大学「おらほ弁で語っぺしプロジェクト」、弘前学院大学「発信！方言の魅力 語るびや語るべし青森県の方言2017」

○第2章

十日市秀悦の「お待たせしました！年に一度の南部弁バラエティーシアター全員集合！」

- ・実施日:2017年12月3日(日)
- ・出演者:25名 参加者:200名
- ・企画・プロデュース:十日市秀悦
- ・出演:十日市秀悦、瀬川さとし、大地球、八戸東高校表現科生徒ほか
- ・料金:1,800円(高校生以下1,000円) ※当日は200円増



南部弁について熱く語る柗谷さん(第1章)



各地の方言で昔話を聴き比べ(第1章)



高校生も南部弁で熱演(第2章)



市民活動
支援事業

ロボフェスタはちのへ 八戸は「ロボコンのまち！」

2017年度は「ロボコンのまち八戸」をより広く発信するため、八戸市市制施行88周年記念事業として、市民ロボコンのほかアーカイブ展など事業を拡充し実施した。実行委員会のみならず、市内のロボット教育を支える八戸工業大学、八戸高専、発明クラブの協力により、ロボコンを始め、ものづくりの楽しさを伝えた。

■ロボコンの街はちのへをご紹介「ロボット×八戸」パネル・映像展
はっち流騎馬打毬ロボコンや過去4回の八戸市民ロボコンアーカイブのほか、市内の学校・団体の取り組みや、中学校ロボコン生みの親である故下山大さんの功績を紹介。（ロボットコンテストの父・森政弘さんのビデオメッセージも上映）

・実施日：2018年2月3日（土）～11日（日・祝）

・主催：八戸市民ロボコン実行委員会

・協力：八戸工業大学、八戸工業高等専門学校

八戸市少年少女発明クラブ、八戸市中学校技術科有志

○ロボット操作体験

大学生が制作したロボットや、高専ロボット東北大会に昨年度出場したロボット、モーターで動くパペットロボットなどを実際に操縦する操作体験を実施。

・実施日：2018年2月3日（土）、4日（日）、10日（土）

○つくるうごかす＝たのしい！「プチロボ工作体験」

展示期間中のイベントとして、モーターで動くロボットを作り、実際に操縦する操作体験を実施。

・実施日：2018年2月11日（日・祝）

・協力：八戸市中学校技術科有志

・料金：1,500円

■第5回八戸市民ロボコン「ぐれっとロボコン88」

テーマは「八戸市の8」。試合コート、ルールなど全て「8」にこだわった。幼稚園児から60代まで、各チームで制作したオリジナルロボットで得点を競った。

・実施日：2018年2月11日（日・祝）

・主催：八戸市民ロボコン実行委員会

・協力：八戸市中学校技術科有志

・料金：3,000円 観覧無料



騎馬打毬ロボコンと、八戸市民ロボコンの歴史を紹介



各学校の協力のもと、ロボット展示



友達や親子で！今年も大いに盛り上がった



「はっちがちっちゃな街になる」をコンセプトに開催した“屋内クラフト市”。7回目となる2017年度は「再考で最高に！」をテーマに、メイン企画のクラフト市に68店舗が出展。ライブ・まなび舎・ワークショップ等も実施したほか、5階に盛岡の人気マルシェ「青空商店」を招へい。

○実施日

2017年11月17日(金)12:00～20:00

11月18日(土)10:00～18:00

11月19日(日)10:00～17:00

○テーマ:再考で最高に！

○主催:はっち市実行委員会

○入場者:18,923名(3日間計)

■オープニング

こどもはっち「ちびっこダンサーズ」によるオープニングセレモニーを実施。

・実施日:2017年11月17日(金)

・協力:NPO法人はちのへ未来ネット(こどもはっち)

・出演:20名(1～3歳のこどもたち)

■冬の外カフェ

薪オープンを活用したカフェ。スープなど温かいメニューや、でき立ての焼き芋も販売。

・実施日:2017年11月17日(金)～19日(日)

・実施:そーるぶらんちかふえ・ろっかく珈琲・ウッドラック

■はっち市ラジオ局

BeFM「びびすた♪」の特別番組、ラジオ風の館内放送を実施。

・実施日:2017年11月17日(金)～19日(日)

・協力:コミュニティラジオ局 BeFM



「はっち市はじまるよー！！」(by ちびっこダンサーズ)



心も身体も温まる「冬の外カフェ」

■ちっちゃな街のまなび舎～手しごと分校～

出展7店舗によるワークショップを実施。

- ・実施日:2017年11月17日(金)～19日(日)
- ・実施:くらふと宮野、Stainedglass & so on Mana、奥入瀬モスボール工房、赤い鳥、逃猫舎、Ardhi、Y・U CANDLE

■ちびっこアートひろば

子どもたちが壁に貼り付けたダンボール作品に、好きな色で自由にペインティングを楽しめる空間。

- ・実施日:2017年11月17日(金)～19日(日)

■書とダンボール

俊文書道会による巨大な書とダンボールオブジェの展示。

- ・実施日:2017年11月17日(金)～19日(日)
- ・協力:俊文書道会
- ・入場者:2,168名

■Kicell ライブ

兄弟デュオ Kicell(キセル)によるライブ。

- ・実施日:2017年11月18日(土)
- ・出演:Kicell
- ・料金:前売3,000円、当日3,500円
- ・参加者:120名

■ちっちゃな街のまなび舎

「ウチ」と「ソト」をテーマに各専門家が講演。

- ・内容:①縄文／土から見る縄文(小久保拓也)
②天文／地球という星(丹羽隆裕)
③暮し／五季の暦(富田貴史)

- ・実施日:2017年11月19日(日)
- ・入場者:472名

■土と暮らし／土を焼く

縄文時代から人々の暮らしを支えてきた土をテーマに土器・陶器等を展示。

- ・実施日:2017年11月17日(金)～19日(日)
- ・入場者:2,433名

■八戸の伝統工芸体験

南部裂織、南部菱刺し、組子細工それぞれの作品を作るワークショップ。

- ・実施日:2017年11月17日(金)～19日(日)
- ・協力:八戸南部裂織工芸、南部菱刺し西野刺っ娘の会、館タテグ工芸
- ・参加者:333名
- ・料金:南部裂織700円、南部菱刺し・組子細工500円

■こどもはっち こども商店街

お店屋さんごっこブース、さかな釣りコーナー、ちぢみっこ作りコーナーを実施。

- ・実施日:2017年11月17日(金)～19日(日)
- ・実施:NPO法人はちのへ未来ネット(こどもはっち)

■託児室

子どもがいる保護者もゆっくり楽しめるよう託児室を開設。

- ・実施日:2017年11月17日(金)～19日(日)
- ・主催:NPO法人八戸子育てメイトサロンネット「みらい」
- ・料金:1時間200円／人(最大2時間まで)
- ・利用者:57組(3日間合計)



自由にペイント「ちびっこアートひろば」



生活を支えてきた土器や陶器を展示



ライブでは、あちこちから「これ懐かしい！」の声が！



**お祭り in はっち
2017**
(八戸三社大祭関連事業)

**八戸の夏は最高潮！
八戸三社大祭を
盛り上げる**

八戸三社大祭と連携した「お祭り in はっち2017」。2017年度の八戸三社大祭はユネスコ無形文化遺産に登録後、最初の祭り。長横町粋組の山車展示や、加賀美流騎馬打毬ツアーなどの恒例企画を実施した。

■はっちの山車展示

山車の展示期間をお盆終了まで延長。市民や観光客に山車の迫力を伝えるために、はっちひろばを山車小屋に見立て、山車の出し入れの臨場感が味わえるよう演出した。

- ・実施日：2017年7月31日(月)～8月16日(水)
- ・協力：長横町粋組

■三社大祭&加賀美流騎馬打毬パネル展

八戸三社大祭の歴史・神社行列の見所や、騎馬打毬の歴史・ルール解説の写真パネルを展示した。

- ・実施日：2017年7月28日(金)～8月6日(日)

■小太鼓体験～たいこでドン！～

八戸三社大祭の練習風景の映像に合わせた小太鼓体験コーナー。

- ・実施日：2017年7月31日(月)～8月4日(金)
- ・入場者：761名
- ・協力：八戸婦人ボランティアいちいの会

■ユネスコ登録パネル写真展

「八戸三社大祭と山・鉾・屋台行事」

八戸三社大祭とともにユネスコ無形文化遺産に登録された全国33の山・鉾・屋台行事のポスターを展示。

- ・実施日：2017年7月28日(金)～8月6日(日)
- ・実施：八戸市教育委員会 社会教育課

■創作和紙人形展～お祭りがやってきた！～

創作和紙人形作家 和井田良子さんによる、八戸三社大祭神社行列の各場面を再現した和紙人形展を実施。

- ・実施日：2017年7月28日(金)～8月6日(日)
- ・実施：和井田良子(創作和紙人形作家)

■加賀美流騎馬打毬観戦ツアー

全国で3か所で行われていない「騎馬打毬」。ルール解説付きで観戦するツアーを実施。

- ・実施日：2017年8月2日(水)
- ・会場：長者山新羅神社
- ・参加者：22名
- ・料金：500円(応援グッズ代)
- ・協力：長者山新羅神社



八戸三社大祭と加賀美流騎馬打毬の見所や歴史、魅力などをパネルで分かりやすく紹介



小太鼓を楽しそうに叩く子どもたち



騎馬打毬の歴史・ルール解説を聞く参加者

観光振興
・FMアクセス
事業

えんぶり in はっち

はっちが贈る
えんぶりの魅力



例年大人気の「えんぶり公演」や「着つけ体験」のほか、「版画」・「切り絵」作品展、「えんぶり組の衣装展示」、夏のお祭り「八戸三社大祭」PRコーナーを新設した。

■藤田健次の春爛漫「版画展」

えんぶりの新作を中心とした、春を感じさせる版画作品約170点を展示。

・実施日:2018年2月10日(土)～20日(火)

・協力:藤田健次(版画家)

・入場者:約2,000名

■えんぶり切り絵展

えんぶりのさまざまな風景を切り絵で表現した作品約30点を展示。

・実施日:2018年2月10日(土)～25日(日)

・協力:天摩譲(内丸えんぶり組親方、切り絵師)

・入場者:約2,500名

■えんぶり公演 in はっち

各えんぶり組による公演を実施。

・実施日:2018年2月17日(土)名川中学校、櫛引上

2月18日(日)荒谷、小中野

2月19日(月)田代、細越

2月20日(火)内丸、日計

・入場者:約1,600名

■ミニえぼしをつくろう!!

えぼしの片面が「どうさいえんぶり」、反対面が「ながえんぶり」とデザインが異なるえぼしを、楽しく作りながら学べるワークショップを実施。

・実施日:2018年2月17日(土)～20日(火)

・協力:NPO法人はちのへ未来ネット(こどもはっち)

・参加者:120名

・料金:100円

■春を呼ぶ「^{えんぶり}机」創作和紙人形展

明治初期の目時地方(現在の三戸町)のえんぶりの様子を再現した和紙人形を展示。

・実施日:2018年2月17日(土)～20日(火)

・協力:和井田良子(和紙人形作家)

■えんぶり衣装・パネル展

えんぶり公演に協力した7組のえんぶり組の衣装と、えんぶりを分かりやすく解説したパネルを展示。

・実施日:2018年2月17日(土)～20日(火)

・協力:えんぶり組(荒谷、内丸、櫛引上、小中野、田代、日計、細越)

・入場者:約2,000名

■えんぶり衣装を着てみよう!

太夫や祝福芸の衣装を着ることができる体験コーナーを設置。

・実施日:2018年2月17日(土)～20日(火)

・協力:内丸えんぶり組、山路利津子着つけ教室講師会
市庁郷土芸能保存会

・参加者:122名

・料金:300円

■えんぶり人形作家と話そう

館内に作業場を再現し、作家本人による制作実演を実施。

・実施日:2018年2月17日(土)～20日(火)

・協力:下崎雅之(えんぶり人形作家)

・入場者:約300名

■「お祭り連携企画・DASHIJIN」ミニ山車・記録映像上映

八戸を代表する二大祭りのひとつ「八戸三社大祭」を紹介するコーナーを設置。

・実施日:2018年2月17日(土)～20日(火)

・入場者:約1,500名



作者の温かい眼差しと思いが感じられる版画作品



躍動感と臨場感あふれる切り絵作品



早く作って被りたいな。えぼしづくりワークショップ



八戸市市制施行88周年記念 「88(やや)異国プロジェクト」 「八戸ってちょっと外国っぽい!？」が テーマの八戸PR映像制作プロジェクト

山形県の東北芸術工科大学の学生が初めて八戸市を訪れた際に「八戸ってちょっと異国っぽい!」という印象を持ったことをきっかけに、八戸市市制施行88周年記念事業として、88周年の88(=やや)と「ちょっと(=やや)」を掛け合わせた、「88(やや)異国プロジェクト」が始動した。

このプロジェクトは、当館と東北芸術工科大学の共同プロジェクトで、同大で講師を務める八戸特派大使のクリエイティブプランナー関橋英作さんと映像監督の今村直樹さんの指揮の下、同大の学生とプロのクリエイターによるチームが、八戸市にある“やや”異国情緒溢れるスポットを紹介する八戸PR映像を制作したもの。

2016年度は、このプロジェクトの予告編となる30秒程度の短編映像を3本制作し、2017年度は予告編と連動した3分30秒程度の本編映像を制作し上映。いずれの映像作品もインターネット動画配信サービスYouTubeで公開している。

- ・撮影期間:2017年9月14日(木)～17日(日)
- ・撮影場所:種差海岸、館鼻岸壁、横丁、陸奥湊駅前、本八戸駅等
- ・撮影のテーマとなった国:アメリカ、フランス、ロシア、中国、イラン

○本編映像お披露目会:2018年2月11日(日・祝)
・入場者:約50名



合成映像を制作するためのグリーンバックでの撮影。海外ニュース番組風の映像はこの手法で作られた



本八戸駅での撮影風景



種差海岸での撮影風景

観光振興
・FMアクセス
事業

市民学芸員・ はっちサポーター

はっちの観光展示を
支える市民力



はっちの観光展示の特徴のひとつは、市民の手によるものがとても多いこと。展示作品を制作した「市民作家」とともに、大切な担い手が「市民学芸員・はっちサポーター」の皆さん。

ボランティアで月に2～3回程度、八庵にいけ花を展示したり、地方紙であるデーリー東北新聞社の文芸天位入選作品を色紙作品に仕上げて展示するなど、展示更新には「はっちサポーター」が活躍している。

■八庵いけ花展示

- ・実施日：2017年4月～2018年3月(のべ18回)
- ・協力：金入陽子

■八庵色紙展示

- ・実施日：2017年4月～2018年3月(月4枚×12か月)
- ・協力：杉本敦子

○色紙展

- ・実施日：2017年6月2日(金)～7日(水)
- ・入場者：約1,200名



季節の花々ではっち3階「八庵」を彩り、利用者をお出迎え

ボランティア
ガイド

来館者とまちをつなぐ ボランティアガイド

はっちは1階から4階まで観光展示やショップなどがあり、1人で見て回っても十分楽しめる施設だが、毎日2人いるガイドに案内してもらえると、より深く広くはっちを楽しめる。

館内案内や八戸の見所案内はもちろんのこと、良き話し相手にもなってくれるガイドは高校生から80代の幅広い世代で構成され、研修会などで勉強しながら日々はっちを支えている。

○ガイド常駐時間 9:00～17:00



笑顔でお客さんを案内



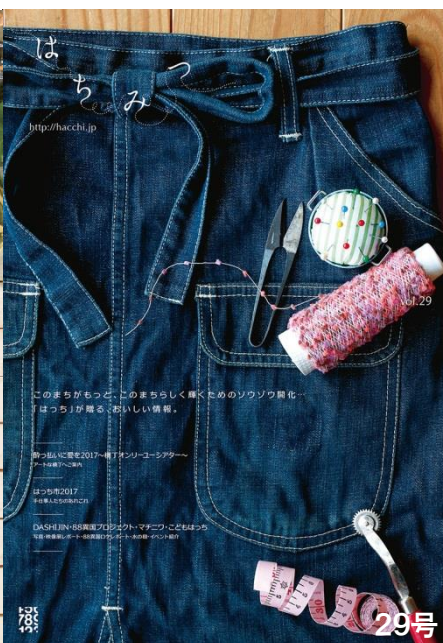
定期的研修を実施し、スキルアップに努める

はっちリレーショナル・プレス はちみつ

このまちがもっと、このまちらしく
輝くためのソウゾウ開花
「はっち」が贈る、おいしい情報

はっち開館前の2010年から発行している「はちみつ」。はっちの館内のことはもちろん、中心街の様子や八戸の新しい情報を発信。2017年度は AIR 事業の「DASHIJIN」やはっち市出展者、はっちの1年間の活動の様子などを特集。市内外の公共施設等で配布している。「はちみつ」を見てはっちに来館してくれたお客様もいるなど、八戸に興味を持ってもらうツールの一つになっている。

- ・発行部数: vol.28、29 15,000部、vol.30 18,000部
- ・仕様: B4判8ページ2つ折、フルカラー
- ・配布先: 中心街約150か所、その他市外約390か所に配布
- ・発行時期: 2017年7月(28号)、11月(29号)、2018年2月(30号)



放送スタジオ 「びびすた♪」

ラジオから届け！
はっちのお知らせ情報



毎回、はっちでイベントを開催する主催者がゲスト出演し、楽しいトークを繰り広げる

「ラジオ」というと顔が見えず音だけを頼りに情報をキャッチするもの。「どんな人なのだろう?」「どんな空間で放送しているのだろう?」とワクワクするのもラジオならではの楽しみの一つ。はっちでは1階にあるガラス張りの放送スタジオで公開放送しているので、スタジオの前に立てば、ラジオで話している様子を直接見ながら楽しむこともできる。「送り手と聴き手が空間を共有できる」はっちのラジオ放送スタジオをぜひ覗いてみてほしい。

また、番組中は、はっちや中心街で開催するイベントを告知するコーナーがあり、イベントの主催者が自らラジオに出演し、イベントの宣伝・PRを行っている。

- ・年間出演者数: 約300名
- ・周波数: 76.5MHz
- ・放送日時: 毎週月～金 11:30～15:00
- ・協力: コミュニティラジオ局 BeFM



貸館事業

市民の皆さんの 活動・交流の場

「はっち」には、大小さまざまなスペースがあり、市民の皆さんが多様な催し物を開催している。毎年開催される恒例イベントも増加している。各施設の特徴や利用事例を紹介。



1F はっちひろば

3階まで吹き抜けの開放的な空間。作品展示・ステージ発表・講演会など多目的に使用可能。



1F シアター1

音響設備やピクチャーレール・ライトなどを用意しており、講演会・作品展示などが多く開催されている。



1F ギャラリー1

ピクチャーレール・展示用照明がある展示スペース。はっちひろば、シアター1と組み合わせた利用も可能。



2F シアター2

音響・照明設備・大型スクリーンがある多目的ホール。楽屋も完備しライブ・演劇が多く開催されている。



2F ギャラリー2

作品の映える白壁にピクチャーレール・展示用照明を備えた個展に最適な展示スペース。



3F ギャラリー3

作品の映える白壁にピクチャーレール・展示用照明を備えた個展に最適な展示スペース。



3F 和のスタジオ・八庵

炉を備えた32畳の和室「和のスタジオ」。掘りごたつ式にもなる「八庵」を組み合わせ利用も可能。お茶席・日本舞踊の発表会・お稽古が多く開催されている。



3F 音のスタジオ

ドラムセット・キーボード・アンプなど音響設備が備わっている防音室。楽器練習・バンド練習のほか、シアター2での本番前練習にも利用されている。



4F 食のスタジオ

コンベクションオープン・炊飯器を始め、調理器具・調理台が備わった開放感あふれる調理室。調理の様子を映すカメラとモニターを設置。



5F 共同スタジオ

100㎡の多目的スペース。大人数でのワークショップなどが開催できる。



5F レジデンス

約42㎡の多目的スペース。アーティストがレジデンスしていないときは、少人数の会議・セミナー、踊りのお稽古などが多く開催されている。

○貸し館の稼働率 (2017年4月～2018年3月)

スペース	稼働率
はっちひろば	57.7%
シアター1	87.8%
シアター2	73.7%
ギャラリー1	78.6%
ギャラリー2	56.5%
ギャラリー3	57.7%
和のスタジオ	29.6%
音のスタジオ	65.7%
食のスタジオ	25.7%
共同スタジオ	67.3%
レジデンス	82.3%



2017年度 はっちの自主事業
(2017年4月～2018年3月)

区分	事業名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		H30年1月		2月		3月	
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
マチニワ																									
1. 金所場づくり																									
2. 貸館事業																									
3. こどもはっち																									
1. 自主事業																									
賑わい創出	1) ライブラリー事業																								
	2) 中心街連携事業 (シーズイベント等)			OGW				○セタ																	
	3) まちぐ(る)み																								
	4) 和日カフェ			○和日																					
	5) DASHJUNプロジェクト																								
	6) 構丁活性化事業 (酔っ払いに愛を)																								
ものづくり	7) ものづくりスタジオ 支援事業																								
	8) はっち市																								
観光振興	9) お祭り連携事業																								
	10) フィールドミュージアム アクセス事業																								
	11) 88異国プロジェクト事業																								
情報	12) アーカイブ																								
	13) 情報発信																								
その他	14) 市民活動支援事業 ①投げ銭ライブ																								
	②その他																								
その他	15) はっち文化創造事業 アドバイザー																								

はっちの年表

2006年	9月	基本構想策定
2007年	6月	基本計画策定
2007年	10月	基本設計策定
2008年	6月	プレ事業スタート
	12月	設計変更
2009年	4月	着工
	8月	愛称「はっち」に決定
2010年	3月	正式名称「八戸ポータルミュージアム」に決定
2011年	2月	はっち開館(2月11日)
	3月	東日本大震災により臨時避難所として運営(3月11日)
		照明学会 照明普及賞受賞
	7月	八戸レビュー販売
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前24%増 中心街全体13%増
2012年	2月	開館から1年目の来館者 888,888人
	3月	来館者数100万人達成(3月27日)
		来館者数1,011,916人(3月31日)
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前89%増 中心街全体33%増
		グッドデザイン賞受賞(八戸レビュー)
2013年	3月	来館者数1,900,046人(3月31日)
	5月	来館者数200万人達成(5月15日)
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前101%増 中心街全体24%増
		グッドデザイン賞受賞(市民が地域づくりに参画できる仕組みプロジェクト)
		第33回東北建築賞受賞
		「日本建築家協会優秀建築選」100選受賞
2014年	3月	来館者数2,863,293人(3月31日)
		文化庁長官表彰受賞(文化芸術創造都市部門)
	4月	マチニワ基本構想策定
	5月	来館者数300万人達成(5月30日)
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前109%増 中心街全体35%増
		マチニワ活用アイデアコンペ公開プレゼン開催
	11月	第43回デューリー東北賞受賞
2015年	3月	来館者数3,846,458人(3月31日)
		マチニワ整備基本計画策定
	6月	来館者数400万人達成(6月2日)
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前82%増 中心街全体19%増
	11月	KIBOW 年次大会2015準優勝(まちぐみ)

2016年	3月	来館者数4,791,861人(3月31日)
	4月	第8回ふるさとあおもり景観賞地域づくり活動部門 最優秀賞受賞(まちぐみ)
	6月	来館者数500万人達成(6月28日)
		地域創造大賞受賞
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前60%増 中心街全体9%増
2017年	3月	来館者数5,735,200人(3月31日)
		マチニワ着工
	7月	来館者数600万人達成(7月18日)
	10月	中心街の歩行者通行量(2010年比) はっち前91%増 中心街全体33%増
2018年	3月	来館者数6,670,219人(3月31日)



2017.4－2018.3

八戸ポータルミュージアム はっち の歩み

発行日 2019年3月31日

発行 八戸市【八戸ポータルミュージアム】
〒031-0032 青森県八戸市三日町11-1

TEL 0178-22-8228

FAX 0178-22-8808

<http://hacchi.jp>

<http://hacchi.jp>

